

「もういらいかい〜ハンセン病と三つの法律〜」

●3月24日(土)・25日(日)

ハンセン病については、国民の多くが病名として認識しつつも患者・家族の実態や、経緯・問題点については十分な理解が得られていない。この映画は三つの法律をもとに展開された絶対隔離政策によって、療養所の中で何が行われてきたのかなどを検証し、百年にわたるハンセン病の歴史を描いている。

<製作> 鶴久森典妙
<監督> 高橋一郎 (日本映画 143分)
24日 1回目10:30~/2回目14:00~ 25日14:00~(1回のみ)
ミュージアムホールにて
1人1,000円



©2012 映画製作委員会

その他のイベント

カオス2012神戸芸術工科大学卒業

●2月10日(金)~12日(日)

ギャラリー棟にて 10:00~17:30
入場料:無料 主催:神戸芸術工科大学

第16回 カワイぞうかいフェスティバル

●2月19日(日)

ギャラリー(北側)、アトリエ2にて 10:00~15:00
入場料:無料 主催:(株)河合楽器製作所・音楽教育室

学生プロジェクトプラン・コンペ 最終選考会

●2月19日(日)

ミュージアムホールにて 12:00~17:30
入場料:無料 主催:コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会

専門学校アートカレッジ神戸

卒業・進級制作展 ART WORKS 2012

●2月24日(金)~26日(日)

ギャラリーにて 10:00~18:00 ただし26日は10:00~15:00
入場料:無料 主催:専門学校アートカレッジ神戸

宝塚大学造形芸術学部

2011年度卒業制作展・大学院修了展

●2月29日(水)~3月6日(火)

ギャラリー棟にて
10:00~18:00 ただし2日,3日は20:00まで,6日は15:00まで
入場料:無料 主催:宝塚大学

第34回 国際書画関西展

●3月9日(金)~14日(水)

ギャラリーにて 10:00~18:00 ただし14日は10:00~15:00
入場料:無料 主催:国際書画連盟

宝塚大学 2011年度造形展

●3月16日(金)~22日(木)

ギャラリー、アトリエ1にて
10:00~18:00 ただし16日,17日は20:00まで,22日は15:00まで

●3月17日(土)~18日(日)

ミュージアムホールにて 10:00~18:00
入場料:無料 主催:宝塚大学

フランコフォニーの日

舞踏講演会:ジョスリース・モンブティ(舞踊家/カナダ/ケベック州)
講演会:エティエンヌ・バリリエ(作家/スイス)

●3月20日(火・祝)

ミュージアムホールにて 時間:13:00~
入場料:無料 主催:関西フランコフォニーフェスティバル2012 in神戸実行委員会

こどもプログラム

こどものイベント

神戸っ子アートフェスティバル関連

神戸市の全ての幼稚園・小学校・中学校・高校・特別支援学校のみんなの作品を展示する「神戸っ子アートフェスティバル」にあわせて、工作イベントと探検ツアーを開催します。

「アートであそぼ！」

●2月4日(土)、5日(日)

11:00~15:30(受付は15:00まで)
集合場所:ホワイエ 対象:どなたでも
参加費:無料 申し込み不要

「美術館探検ツアー」

●2月4日(土)、5日(日)

14:00~14:30
★ おやこで美術館を探検しながら、美術館の秘密に迫ろう。

集合場所:ギャラリー棟3階
ギャラリー入口

対象:当日募集のおやこ
募集人数:5家族程度
参加費:無料 申し込み不要

2012年も美術館で楽しいイベントに参加しよう!

解剖と変容展関連
「私の中の植物一絵に刺繍してみよう」

●3月3日(土) 10:30~15:30

★ 解剖と変容展をみて、作品からヒントを得た、ユニークな技法による制作に挑戦してみよう!

受付開始日:2月18日(土)(受付開始日の10:00から電話にて受付)

対象:小・中学生とその保護者 募集人数:30名(先着順)

参加費:500円程度(材料費、保険)

※昼食と飲み物をご持参ください。

「新宮晋ワークショップ 元気のほりに絵を描こう！」

●3月24日(土)

★ 鯉のぼり型の布に東北へのエールを込めて絵を描こう!

※詳細はHPにて



イベチャン

Exhibitions 展覧会

次回特別展

開館10周年記念
「日本の印象派・金山平三」展
4月7日(土)~5月20日(日)



金山平三 (雨のプラザ・セガール) 1915年 当館蔵

平成14(2002)年に兵庫県立美術館が移転・開館して10年になるのを記念して、当館のコレクションの核となる神戸出身の洋画家金山平三(かなやま・へいぞう 1883-1964)の回顧展を開催します。今回は、過去に兵庫県立近代美術館で開催の金山展に出品されなかった作品も国内から拝借して展示し、若き日のヨーロッパ時代、脂ののった官展出品の時代、晩年の「孤高の画家」の時代にそれぞれ焦点を当て、彼の偉業を改めて検証します。

平成14(2002)年に兵庫県立美術館が移転・開館して10年になるのを記念して、当館のコレクションの核となる神戸出身の洋画家金山平三(かなやま・へいぞう 1883-1964)の回顧展を開催します。今回は、過去に兵庫県立近代美術館で開催の金山展に出品されなかった作品も国内から拝借して展示し、若き日のヨーロッパ時代、脂ののった官展出品の時代、晩年の「孤高の画家」の時代にそれぞれ焦点を当て、彼の偉業を改めて検証します。

毎日新聞創刊140年記念

いわさきちひろ展

母のまなざし・
子どもたちへのメッセージ

3月31日(土)~5月6日(日)

ギャラリー棟3階ギャラリーにて
観覧料:(当日)一般1,000円 大学生800円 高校生・65歳以上500円
(前売:20名以上の団体)一般800円 大学生600円 高校生・65歳以上400円
中学生以下無料
主催:毎日新聞社・神戸新聞社・ちひろ美術館

関連イベント

ギャラリー・トーク

松方 路子(安曇野ちひろ美術館学芸員)

3月31日(土) 14:00~
展示室内にて 事前申し込み不要 ただし当日の入場者のみ



(チューリップと子ども) 1970年頃

第6回 KEN-Vi文化セミナー

●2月19日(日)

第一部 講演
「日本はリセットされたか」

建築家 伊東豊雄氏

第二部 対談

「未来の美術館」

伊東豊雄氏、養豊(当館館長)

ギャラリー(南側)にて 13:00~ 受講料:1,000円(全席自由席)
前売券のみ販売:ミュージアムショップ、ローソンチケット(Lコード51305)
未就学児不可



コレクション展

2011年度 コレクション展Ⅲ

コレクション名品選

「美術の中の“わたし”」
小企画「安井仲治の位置」
~3月11日(日)まで



安井仲治(犬) 1935/2010年

現在開催中の「コレクション展Ⅲ」の見どころは、写真家安井仲治のさまざまな表現の源をさぐる小企画「安井仲治の位置」です。わずか38歳で病没した安井の幅広い作風は、今なお新鮮な魅力にあふれています。さらに彼の作品は「美術の中の“わたし”」

にも数点展示されています。こちらは写真家の生前(すなわち戦前)に焼かれたヴィンテージプリント。新旧の写真の表現の違いを同時に味わえるまたとない機会、どうぞご堪能ください。



梶尾忠則(切新された小箱に輝けるパラード) 1966年

関連イベント

1)「安井仲治の位置」関連イベント

学芸員による解説会「仲治の本棚」
講師:速水 豊(当館学芸員)、小林 公(当館学芸員)

2月5日(日) 14:00~15:30
レクチャールームにて
参加無料(定員先着100名、要観覧券)

2)学芸員によるギャラリー・トーク

講師:相良 周作(当館学芸員)

2月25日(土) 16:00~(約45分)
1階常設展示室にて
参加無料、ただし要観覧券

3)ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜
13:00~(約45分) エントランスに集合
※内容により要観覧券

次年度2012年度 コレクション展Ⅰ
特集

「美術をみる8つのポイント(仮題)」
3月24日(土)~6月24日(日)

神戸っ子アートフェスティバル

●1月31日(火)~2月5日(日)

ギャラリーにて 10:00~18:00、ただし4日は10:00~20:00
入場料:無料 主催:神戸っ子アートフェスティバル実行委員会